

研 究

陸運調整の實際（一三）

武若時一郎



第三章 その他の對抗手段（承前）

宅 扱 業 務

以上述べたところは、道路競争の直接の結果たるこの種の配達業務の發展に關係を有するものとして、研究を進めたに過ぎない。これは一般に、鐵道よりも鐵道への移動貨物の直接的集貨及び配達であるとか、鐵道の終點その他に於ける集貨または配達の何れかを含む一態様または變形

的實際であるとか、鐵道または道路運送業者、通運會社または貨物運取扱人が責任を負擔する回送契約であるとか、またはこれに類するものであると云ふ風に考へられる。實際の方法は國によつて區々であつて、或る事例については旅客、手荷物についてのみその適用があるかと思へば、また他の事例に於いては、貨車扱の貨物について行はれてゐる有様である。私有に屬する枝線または引込線に設備されたものによる小包用貨車業務は、この種業務の幾

多の態様中の一つの形成に過ぎないのであつて、この特殊の方法は既に相當の期間實施されて來たものであるが極最近の發達によれば、この主義は貨車扱以下の貨物についても適用されることとなつてゐる。以下世界各國に行はれてゐるこの種業務の検討に際しては各國に於いて實施されてゐるところをなるべく詳細に書留めて置くこととする。

ヨーロッパの鐵道は幾多の事例に於いて、この種の業務を自己に實施してゐる。オーストリアに於いては、所謂「運搬奉仕（Rohlfuhrdienst）」を通じて鐵道によつて提供される。最初特殊の宅扱料金が設定されたのであつたが、餘り一般から歡迎されなかつたので、一九三二年に中止されたこととなつた。

ベルギーの鐵道は一九三三年三月、アントワープとブルッセル間に於いて宅扱業務を創始し、同年一〇月一日にはリエージュにまで擴張されることとなつた。一九三三年末に於いて「ベルギー鐵道會社」は貨物の配給を處理するため、自動車二〇八臺を運轉してゐる。同年一二月八日に

はプラツセルとシャルル・ロア間に於いて、貨車扱以下の貨物についてこの種の業務を創始することを承認してゐる。その料金は重量一〇匁の荷物の運搬については七フラン、九〇匁の荷物については二十四フランとし、その間に數種の等級を設けてゐる。ベルギーのマルルーリバゾーはボマール地方に於いては宅扱業務は五七ヶ町村に亘つて創始されることとなつてゐる。その料金は一〇匁またはその端數毎に二・八フランを徵集される。その實施計畫によれば、この業務による速達貨物は、最大二四時間以内に配達されることになつてゐる。一九三三年三月までは、この業務は専ら私設會社によつて提供されてゐた。一九三四年二月に「ベルジユーム鐵道」はプラツセル市及びその接續町村に於いて國際小郵便について試験的に集配業務を實施することになつた。集貨の申込は手紙または電話によつてプラツセル北停車場に對して行ふことになつてゐる。この居宅集貨業務の料金は一〇匁未満の貨物一箇については、二・八〇フラン、一〇匁乃至二〇匁の荷物については三・

五〇フランとなつてゐる。ベルジニューム鐵道は一九三五年度の豫算に於いて宅扱業務創設費を計上した。

チエツコスロヴアキヤの國有鐵道は、一九三二年の末に、宅扱業務の採用を試みた。この目的のため、約一五〇輛の自動車を購入し、ブレークに運送取扱機關を設置することとなつた。この機關は一般の運送取扱店と同様の事務を處理し、戸口配達主義に則つて鐵道運送業務を提供せんとするものであつた。ところが、地元の運送取扱業者のみなならず一般からも反対を受けることとなつて、間もなく廢止された。然し鐵道當局にはこの種の施設を見切つて終ふ意思がなかつたので、一九三三年に、協力主義に依るこの種施設の協定を行ふために、「チエツコスロヴアキヤ運送取扱人協會」と交渉を開始することとなつた。停車場と戸口間の貨物運送に對して運送取扱店の要求する料金、その他について種々の難問題が發生した。右の料金は場所に依つて異なり、小さな町村にあつては二クラウンであるが、ブレークに於いては四クラウンである。鐵道側では、自動車と競

争し得る程度にまでこれらの料金を低減せんと努めてゐる。今までのところ、協定を締結するには至つてゐないが、鐵道側では個々の運送取扱人に依つて鐵道に引渡された貨物より生じた收入を基礎として特別の獎勵金を運送取扱人に提供することに依つてこの目的を達成せんことを期待してゐる。例へば、或る運送取扱人が一年に五千戄に達する貨物(これに對する運賃は約五〇〇、〇〇〇クラウン)を供給したとすれば、右の金額の約一割に相當する獎勵金をその年に交附される譯である。貨物が一、〇〇〇、〇〇〇クラウンに達する場合には、獎勵金はそれだけ多くなる譯である。換言すれば、獎勵金の多寡はその年に鐵道に引渡された貨物の量を基準とするものである。斯くて運送取扱人には、毎年一定の最小限度の貨物を引渡すべきことが義務附けられる。その數量は營業の大小によつて定められる。この數量を基礎として最低の獎勵金が交附せられ、數量を超えた場合にはそれに應じて獎勵金の額も多くなる。この種の協定が成立した際には、運送取扱人は道路運送施設の

代りに鐵道の利用に努力することとなり、これと同時に、その荷役料金の低下に努めるに至るであらうと考へられる。

この案の外に、猶ほ運取扱人協会との附帶協定（チエツコスロバキヤ鐵道の運賃收入總額を基礎とする獎勵金が個々の組合人に分配するため組合に對して一括して交付される）と云ふ様な方法も研究されてゐる。これまで、鐵道は貨物の到着を荷受人に通知するために郵便を利用しても、現在ではこれ等の通知を傳達する特殊の機關を備へてゐて、多くの場合は電話をもつてこれをを行つてゐる。鐵道は荷受人が自ら貨物を驛から引取るか否かは荷受人の自由にまかせることになつてゐるが、若し荷受人に希望があれば、喜んで配達の註文を受けることになつてゐる。この場合には協定を結んでゐる地元の運取扱人の手を利用してのことになる。鐵道は更に進んで、個々の工場と特約を結んでその定時的貨物を一切引受けることも行つてゐる。殊に著しい事例はブラングの郊外にあつて、毎日同市に罐入の牛乳六車づつを出してゐる牧場の例がある。以前は一

個毎に別々に運送證券を作成し運賃を前納しなければならなかつたが、今日では荷主は大體その一ヶ月分の運賃總額に相當する金額を鐵道に供託してをき、貨物は運送證券を作成すると云ふ様な面倒な手續を経ないで自動的に取扱はれることになつてゐる。運送證券作成の煩は牧場が配達簿を使用することによつて取除かれる。驛長が積出された牛乳の數量と共に、料金をそれに記入してをくのである。毎月一回計算を行ひ、牧場がこれ等の料金とその供託金との差額だけの料金を支拂ひまたは還附を受ける。配給の實際に鑑みるとところ、荷受人は總てすぐに鐵道職員と知合になり、その結果荷送狀の使用によつて貨物受取の權利を立證する問題が解消し、牛乳は當該牧場に對する領收書と引換に引渡されるのである。

デンマルクの國有鐵道は幾多の場合に於いて、或は自己の車輛の使用によりまた或は道路運送事業者との協力によつて、宅扱業務の創設を試みて來た。

フィンランドの國有鐵道局は約七〇に上る道路運送事業者

と調整協定を締結し、之によつて道路運送事業者は鐵道に對して培養者としての活動をすることになつてゐる。鐵道局はこの情勢の擴大に努力を拂つてゐるが、現在のところでは鐵道局と利害關係を異にする道路運送事業者から多大の反対を受けてゐる。これ等の事業者の中には旅客が鐵道に聯絡することを不便ならしめ乃至は不可能ならしめる様な時間表を設けてゐるものもある。猶ほ鐵道局はアボワサ、クオピオ、ガマラルカルビー、イバスキラ、ヘイノラ及びボルガに於いては、自己の自動車により、またヘルシングフオルス、ビボルグ、タンタルフオルス、ウレヤボルグ、ビヨルネボルグ、ソルタバラ及びニスロットに於いては特許事業者を通じて荷受人への貨物配達を行つてゐる。

フランスに於いては、戸口から戸口への貨物の集配は、道路施設の擴張とこの種貨物の運搬に關する道路運送事業者との契約締結とによつて改善を加へられてゐる。

一九三〇年「ドイツ鐵道會社」はドイツに於ける一切の形式の道路運送事業を自己の統制下に自動的に置く様な一

種の宅扱業務の展開を試みた。この案は「シェンケル會社」なる國際通運會社との補助契約によつて實行に移されることがとなつてゐた。契約の條項によれば、右の通運會社は鐵道によつて現實に行はれるもの以外は、貨物の運搬に關係する一切の職能について獨專權を有することとなるのである。この中には鐵道の終點まで及びこれよりの一切の貨物の運送、集貨及び藏置、貨物業務の促進及び鐵道の終點より發する長距離の道路貨物運送が含まれてゐる。契約の兩當事者は戸口配達と道路運送との原價の低減を圖り、また貨物に對する。一切の運賃を一括した單一の運賃表を設定することを目指してゐるのである。

過去に於いては、道路運送事業者は運賃表の統一に關する協定をなすことが出來なかつた。その結果、それ等の運賃は經營者によつて區々となつてゐた。これ等の會社は弱小のものが多く、從つて充分な藏置設備を有してゐなかつたから、この種の業務については鐵道に依頼し、鐵道はこれ等の嵩高い貨物は中央の配達駅に廻し、そこから道路事

業者が積込んで配達してゐた。この叙上の契約の目的は、これ等の道路運送會社から仕事を剥奪せんとするものでなくて、「シェンケル會社」を通じてこれ等の會社を當該計畫に合流せしめんとするものであると云はれてゐる。「シェンケル會社」は契約中に掲げられた事業を遂行するため、國內全部について、必要な設備を準備することを要せず、同案の義務を承認する個々の道路運送會社に下請を行はしめることを主たる目標としてゐるのである。

この協定案は、ドイツの公衆から一向好意を以つて迎へられなかつた。そして殆どあらゆる種類の運送事業者から抗議を提出されることとなつた。それ等の中でも、斯かる協定が出来れば、運送上の取引の自由は消滅するに至るであらうとか、貨物の蒐集と海洋終點の選擇とに對する統制が實施されるに至るであらうとか主張された。この外に、この事業は「シェンケル會社」の意図一つで何れのもののか手へ渡すことも出来るであらうと云ふことも指摘された。實業家は運送費の節約などと云ふことは單なる欺瞞に過ぎ

ないと稱し、また一般市民はこの計畫の實施によつて多數の失業者を出すことを危惧した。多くの批評家はこの計畫は違法である、少くともこの場合の契約は國家の承認を経なければならぬと云ふ見解を抱いてゐた。政府が先づこの契約に對して認可を與ふべきであると云ふことを認めただけではないが、鐵道會社は一九三三年の末に、これを交通省に提出した。ドイツ政府は運送取扱會社に對する完全な統制權を取得し、然る上に於いて主たる妨害に對抗する様な方向にこの計畫を運用して行くこととなるであらうと云ふことが取沙汰されてゐる。一九三四年に鐵道會社は、最近設立された「合同運送會社」(これはベルリン市内の運送代理店の聯合と見て差支へない)との協力によつて、貨物の荷役及び配達の迅速を圖り、積込場所の使用を改善し、運送料金の節約を行ふ目的の下に事業を始めた。一九三一年一月一日、鐵道會社は「ドイツ航空會社」と契約を締結し、航空及び鐵道の兩路線を利用する貨物は、總て戸口配達となし得ることとした。この契約によつて、運賃支拂に

三通りの方法が生じた。即ち荷送人が仕向驛までの運賃を支拂ひその他的一切の費用は荷受人の負擔とすること、または荷受人が一切の料金を支拂ふこと、または荷送人が荷受人の金庫に至るまでの配達料金をも含んだ一切の費用を負担すること、が即ちこれである。

ギリシャの國有鐵道は一九三〇年に特殊の道路配達施設を採用した。これはまだ實施されてはゐるが、その成績は餘り良好ではない。その理由としては、貨物は荷送人が鐵道驛へ引渡すことを要し、また鐵道は荷受人への配達に對してのみ責任を有すると云ふ譯であつて、從つて他の諸國に於いて行はれてゐる程にはこの施設が利用されてゐないからではないかと考へられてゐる。

ヘンガリヤの鐵道は既に六年前から宅扱業務を實施して居り、終點荷役の問題の解決に多大の貢獻をなしてゐるものと見られてゐる。

イタリヤの鐵道省は、一九三三年末に地方の道路運送事業者と契約を締結し、二五七の連絡驛を通して一、六三五

研究

の市町村にこの種の業務を實施することとなつた。猶ほ鐵道省の監督下にある半官半民の機關だる「アゲンチエ・デイ・チッタ」は小包、手荷物等の蒐集及び受取人の住所または營業所への配達を目的とする業務の改善について一大躍進を遂げてゐる。この機關は州の首府、主要なる都市、遊覧地等に事務所を有してゐる。小包便を獎勵するために速達小包の制度が一九三一年一月に設けられた。これに要する手續は極めて簡単であつて、貨物は最も早い列車にて輸送され、住所への配達は二〇匁を超過せざる貨物については、到着後六時間以内に行はれることになつてゐる。一九三三年六月二十日現在に於いてこれ等速達小包の配達に從事してゐるアゲンチエ・デイ・チッタの數は二〇六を算し、これを前年の一一七と比較すれば、非常な發展を示すものである。

ノルウェーの鐵道は重要都市に於ける小荷物については自己の地方的配達施設を有してゐるが、小さな町村に於いては、近接地方への貨物の運搬については地元の運送會社

と協約を取極めてゐる。

オランダでは一九三三年五月一日に、一種の宅扱業務が創始され、鐵道は小包については荷受人の戸口まで配達を行ふこととなつた。

オランダでは、宅扱業務は私設道路運送事業者に對する特許を擴張して停車場よりの小口貨物を仕向地まで運搬させるによつて鐵道がこれを提供してゐる。此事業は餘り成績がよくないので、その結果遞信大臣は最近、貨物運送改善方策の一つとして、此種業務の一層の發達を圖る事としたいと聲明してゐる。これはワルゾー、ポツナン、カトウイス及びグダンスクに於いては既に一部實施されてゐる。

ボルトガルに於いては「ボルトガル鐵道會社」は地方の道路運送事業者と連絡して、リスボン停車場より旅客の住所までの配達、または停車場へ運ぶため住所に於ける手荷物の蒐集事業を行つてゐる。この料金は個數及び停車場よりの距離によつて異つてゐる（市内を三地帶に分けてゐる）。即ち左の如くである。

ユーロースラビヤの鐵道は特定の場合に限り、國內宛の手荷物及び貨物の配達を行つてゐる。

	第一地帶 （エスクード）	第二地帶 （エスクード）	第三地帶 （エスクード）
一箇	九・七〇	一二・一〇	一五・七五
二箇	六・一〇	七・九〇	九・七〇
三箇	一二・一〇	一五・七五	一九・四〇
一箇を増す毎に	三・六五	四・八五	六・一〇

スペインではマドリッド市を中心とする三大鐵道がこの種の事業のために、トラフエニサ（Trafesa 正しくは Transportes Auxiliares de los Ferrocarriles de Espana 「スペイン鐵道補助運送會社」と營業協定をなすことに努めてゐる。一九三三年の後半に於いて、後者の會社はマドリッド市内の主要停車場と隣接町村間に於ける旅客運送に從事してゐたものである。

スエーデンに於いては、國有鐵道も私有鐵道も大都市に於いては、相當の手數料の納附によつて荷受人への直接的配達業務を行つてゐる。集貨事業は未だ實施されるに至つてゐない。

イギリス本國、アイルランド自由國及び北アイルランドに於いては、この種の業務は廣く利用せられ、常に改良を加へられてゐる。

イギリス本國に於いては、貨物集配のため鐵道が提供する施設は、近年に至つて改善を加へられたものであつて、もつと近代的な設備の使用によつて著しく迅速化し得るものであらうと云はれてゐる。使用されてゐる馬車の數は自動車の數の五倍以上になつてゐる。一九三〇年に於いて四大幹線鐵道は、貨物自動車四、三二三輛に對して馬車三一、九九九輛を有してゐたが、一九三二年に於いては貨物自動車五、六〇一輛に對して馬車二九、四六一輛の割になつてゐる。これ等の鐵道の内三社は、その停車場から一〇哩乃至一二哩の半徑内にある郊外地に於ける集配事業を行つてゐる。一九二八年以來鐵道（道路）運送法は、鐵道が情況の許す場合には荷送人から荷受人まで直接道路によつて貨物を運搬することを認めることがなつた。この種の集配業務のために幾多の種類の容器が使用されてゐる。

アイルランド自由國に於いては、「大南部鐵道」はこの後の形式に於ける配達業務について極めて優秀な制度を創始してゐるが、北アイルランドに於いては、近年宣傳は盛んであるが實際は貨物及び小包の戸口配達に限られてゐる。

北アイルランドに於いては、この事業は鐵道と連絡して運轉してゐる道路用車輛により、または鐵道會社の選擇によつては道路運輸事業によつて全部的に運送される場合もある。配達事業は一定の計畫によつて行はれ、その日に積出された貨物は、北アイルランドの何れに對しても、翌日中に配達される様になつてゐるのが普通である。

カナダに於いては、一九三三年三月六日に公布された規則に從つて、南オンタリオで「カナダ國有鐵道」、「カナダ太平洋鐵道」その他の鐵道によつて一車扱未滿の貨物について宅扱事業が試験的に行はれてゐる。この施設は荷送人から多大の感謝的支援を受けた結果、一九三四年二月に兩鐵道は、この制度をトロント以東の地域に擴張する旨を發表した。實際この事業を採用した結果として鐵道は、相當

の費用は要したもの、從來道路用車輛に奪はれてゐた貨物運輸の一部を取戻して居り、またこれ以上の損失は完全に防止されることが明らかとなつた旨が、一九三四年九月に發表されてゐる。しかし彼等はこの施設の結果に對して全部的に満足の意を表してゐる譯ではなくて、これは單に一時的方便に過ぎないと見てゐる。この最初の施設はトロントとウインザル間に於ける約五四の主なる仕立地間に於いて、均一の料金によつて完全なる戸口から戸口への運送を行ふことになつてゐた。或る有力なる経済新聞はこの施設の採用を報道するに當つて「自動車の競争に對抗するため嘗て行はれたことなき革命的實驗である」と稱してゐる。叙上の均一料金は總て一車扱未滿の貨物（これは貨物の等級別によれば、五級以上となつてゐる）を包含する。尤も荷受人には從前の等級別運賃を選択する權能が與へられてゐるが、大體に於いて右の新料金が運送費を低減するものである。仕立地に於いて道路運送施設を提供するため、鐵道はこの地域内に於ける道路運送會社四〇社以上と

契約を締結してゐる。その當時鐵道運送業者は道路運送業務に立入るものではないと云ふことが強調された。叙上の仕立地五四箇所の外に、二〇〇餘の小都市に於いては、この種の施設の一部が利用し得る様になつてゐる。或る鐵道當局者はこの試験的集配料を「カナダ貨物類別表に於いては四級以上に屬するものとして分類されてゐる貨物運送の總てに對して適用される單一の運賃を設けたと云ふ點に於いて、從來の行方に對して極端な背離を行つたものである。貨物類別表によつて包装その他について定められた荷送條件の一切を取除き斯くすることによつて鐵道運送を道路運送と同一の地位に置くことに努めてゐる。」と述べてゐる。この處置はオンタリオ自動車運送會社によつて王立鐵道運輸委員會に提出された覺書中に掲げられた意見に従つたものである。「一車扱未滿の貨物の運送について、鐵道は貨物自動車運輸事業を利用すれば、關係者の一切に對して多大の利便を與へ得るものであると云ひたい。アメリカ合衆國の多數の鐵道は、鐵道及びその荷送人に利益のある自動

車運輸と鐵道運輸の調制を行つてゐるのである」と述べられてゐる。これ等の努力は、全然南オンタリオに限定されたものであるが、一般の動向としては、地元の道路事業者と小運送契約を設定する方向に進んでゐる。この契約は道路運送機關による倉庫より仕向地までの配達料金を荷受人が容易く知り得る既定の料金表を基礎としてゐる。殆ど總ての重要な貨物終點は、主要區域内は一ハン下レツドウェイド（約一四貫）につき幾らと云ふ既定の料率によつて商業運輸を處理するために道路運送會社と協定を結んでゐる。例へばオッタワに於いては、道路運送の費用は一ハンドレッドウエイトまたは一貨車分について四セント、一貨車未満の貨物については一セント増しとなつてゐる。この施設によつて、鐵道は地方の配達を整理しました一定の配達線を選定して、終點作業の迅速化を圖ることが出来る。

「ブエノスアイレス＝太平洋鐵道」は貨客の運輸について、或る道路運送業者と協定を取極めてゐる。この道路運送業者は貨物の仕分、運賃原價の低減及び戸口配達事業の利便を顧客に與へる點に於いて、鐵道の代理店として活動する。

ブラジルの「レオポルヂナ鐵道」はリオデジヤネロからジュイズ・デ・フォラに至る線路の主要地點に於いて、戸口配達業務を行つてゐる。リオデジヤネロ、ペトロボリス、ニクテオリ及びジュイズ・デ・フォラの地方的自動車運輸會社と協定が出來てゐて、荷送人の倉庫へ行つて貨物を取集め、また鐵道によつて仕向地まで運送された後は荷受人の倉庫まで配達されることになつてゐる。リオデジヤネロとサントス間に於いても、類似の施設が遠からず始められることになつてゐる。

限定してゐるが、これ等の貨物の處理については鐵道が全部の責任を負擔してゐるためである。

コロンビヤの國有鐵道は、ボゴタに於いて噸當り五〇セントの割増料金を取つて戸口配達事業を行つてゐる。管理會議はカリーニ他共和国の他の大都市に於いてこの事業を初める可能性ありや否やを調査してゐる。キューバの鐵道はこの種の施設を或る範圍まで利用してゐるが、幾多の困難があるため、餘り普及するに至らない。エクワドルに於いてはこの種の配達業務は折にふれ種々の私設通運會社において企てられてゐる。ペルーでは「中央鐵道」及び「ペイタリピューラ鐵道」がリマ及びペイタに於いてこの種の業務を提供してゐる。「中央鐵道」はこの目的のためにリマ及びその近郊に一二輛の自動車を運轉してゐる。ウルガイの鐵道は機會ある毎に地方の道路運送業者との協同的努力を強化することによつて、この種の配達を發達させてゐる。サルバドルでは最も重要な商品について、競争的地点にこの種の業務を創始して居り、サンタ・アナ及び

サン・サルバドル兩市に實施してゐる。

この施設に類似のものがオーストラリヤとニュー・ジーランドに於いて鐵道に依つて提供されてゐる。オーストラリヤに於いては、戸口配達業務は廣く發達してゐる譯ではないが、大都市では鐵道驛との間の貨物の運搬について目下利用せられてゐる。これらの地の大部分では、貨物は貨車積渡(F.O.R.)で賣却せられ、また鐵道配達と他の形式の

市内配達とを兼營してゐる業者が多い。オーストラリヤ諸州の中、ニューサウス・ウェールズは羊毛貨物について鐵道から倉庫までの配達を行ひ、戸口配達について道路運送事業者と種々の協定を行つてゐる。南オーストラリヤ鐵道局は大體に於いて、戸口配達を行つてゐないが、若干の大都市に於いては、特定の鐵道驛に於ける地元道路事業者と契約を締結し、鐵道荷役と配達の双方の料金を含んだ料金を以つて荷受人の許へ貨物を運ばせると云ふ貨物取扱の方法を調整してゐる。最近、鐵道局長は鐵道運賃に一定の金額を附加し、運賃を支拂ふ者に一つの包括的料金を支拂は

しめ、運送業者は各運送業者が取扱つた噸數總額を基礎として一定の期間毎に鐵道局長より支拂を受けると云ふ制度を設けた。この場合には、地方の信用の出来る道路運送事業者が登録せられ、顧客はどの運送業者に命じて自己の貨物を鐵道終點から運搬せしむべきやを公の文書によつて知ることになる。現在行はれてゐる今一つの制度によれば、道路事業者が特定の都市への貨物運搬について鐵道局長に對して一切の直接的責任を取り、鐵道は自己を最終の荷受人と看做さないで、鐵道局長との契約の條項によつて最も有利に業務を引受けける道路事業者に代つて自動車一車分の貨物を送り出すのである。この後の方針は、主として道路

事業者の知識と企業心とに依存するものであつて、従つてこれを利用するには多大の思慮を拂ふことを要し、また極度の競争を引起す惧がある。鐵道局長は大都市の終點に於ける倉庫から貨物の蒐集を行ふことは、これに要する車輛の數及び列車と連絡する責任の點から見て、鐵道に對しては到底實行不可能であらうといふ感想を持つてゐる。ビク

トリヤは出來得る限り手荷物の戸口配達を行ふことによつてその旅客取扱業務を改善して居り、また場合によつては、同様の行為が貨物運送についても行はれてゐる。西部オースリヤに於いては、この施設はパース及びフリーマントル兩市に於ける小荷物運搬のみに限定されてゐる。ペニスに於ては易損品もこの方法によつて取扱はれてゐる。ニューアジーランドの鐵道は、その戸口業務を増大し、一九三二年末には約四八の都市がこの施設の便益を享けるに至つてゐる。ウェーリントン及びクリストチャーチに於いては、鐵道に積込む小荷物は商店からこれを集めることにつてゐる。

セイロンはこの種の施設を或る鐵道終點に於いて實驗的に行つてゐる。鐵道運送事業者の一大問題の一たる積換問題の點から見て、それが果して成功的に利用され得るや否やは疑問とされてゐる。

英領マレーに於いては戸口施設は最近、マレー合同鐵道によつてすべて的主要都市に實施されることとなつた。